

# 黒埼町の今昔

町史編さん課

## 黒埼町の風呂屋(六)

### 天然ガスの圧搾機を「鶴の湯」は黒埼で他に先駆けて導入した。

風呂屋の営業が軌道に乗った昭和十二、三年ころ、卯一さんは水タンクをひとまわり大きくした。

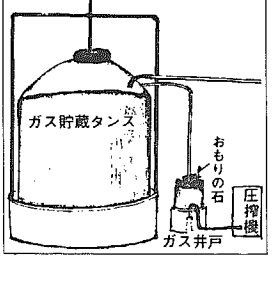
当時の簡易水道は、現在の上下水道の二十四時間給水と違って、夜八時から翌朝にかけて運転休止となり、給水が止

められたのである。そのころの風呂屋は十二時ころまで営業していたので、この八時からの給水休止は痛かった。

そこで、八時以降十二時までの水を確保するためには、どうしても大きな水タンクが必要だったのである。

また、時には客が混み、水タンクの水で間に合わなくなると、「鶴の湯」の長女よし子さんが父親に言いつかって、大野簡易水道組合の渡辺さん宅へ、ポンプを止める時間の延長を頼みに行ったものだという。

こうした「鶴の湯」の水の苦勞は、昭和三十二年八月、黒埼村上下水道の金巻、興野、大野の一部通水開始まで続いた。(なお、この時点では、午



筆者もそんな泥水の日に行っていたことがあるが、湯ぶねの中にひたっていて自分の体にさわると、何かべたべたするようで嫌な感じだった。しかし、汗を流した日は風呂に入りたかったので、少しくらい濁っていてもよく入りに行ったものだ。

天然ガスを燃料に 卯一さんが役場に勤めていた昭和七年ころ、役場の周囲は全部田んぼか畑で、新町裏

から諏訪町裏にかけてはまだ一軒も家がなかった。ちょうどそのころ、役場から百メートルほど離れた新町の近藤長蔵さん宅裏のガス井戸が自噴し、そのガス量が非常に豊富で、貯蔵タンクから余ったガスがいつも放出されていた。卯一さんはその余剰ガスを風呂の燃料に使わせてもらえないだろうかと考えた。長蔵さんから承諾を得ると、卯一さんはガス管を引く許可を申請した。

新町の長蔵さん宅のガス井戸から二町の「鶴の湯」までは、図に記したとおりほとんどが田んぼか畑だったので、ガス管を直線に引くことができた。それでもガス管の全長は四、五百メートルになった。また、田や畑の上にガス管を通すには、農作業にさしかえのない高さに管をつるし、おかない高さには管をつるすための柱も建てなければならなかった。

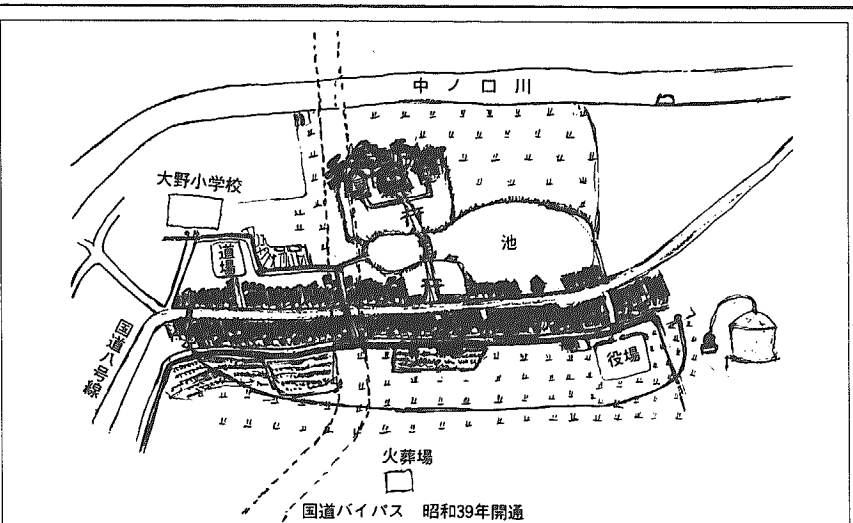
当時はまだ、エスロンパイプなどという便利な物がなかった。トタンのパイプをハンダで接続しながらの配管だった。

しかし、燃料にガスを使用して一年ほど経った昭和八年ころになると、あれほど多量に噴出していたガスの出がだ

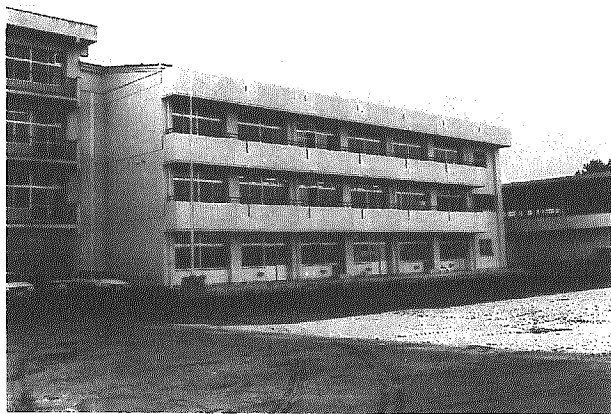
んだん悪くなってきた。当時、黒埼の村内にはガス井戸がかなり普及していた。しかし、圧搾機がないため、自噴が止まればつぶれ井戸として放棄され、ガス井戸の使い捨てのような時代だった。

苦勞して作った設備を一年やそこらで無駄にすることは、卯一さんには耐えられなかった。なんとかして井戸を復活させられないかと考え、調べ

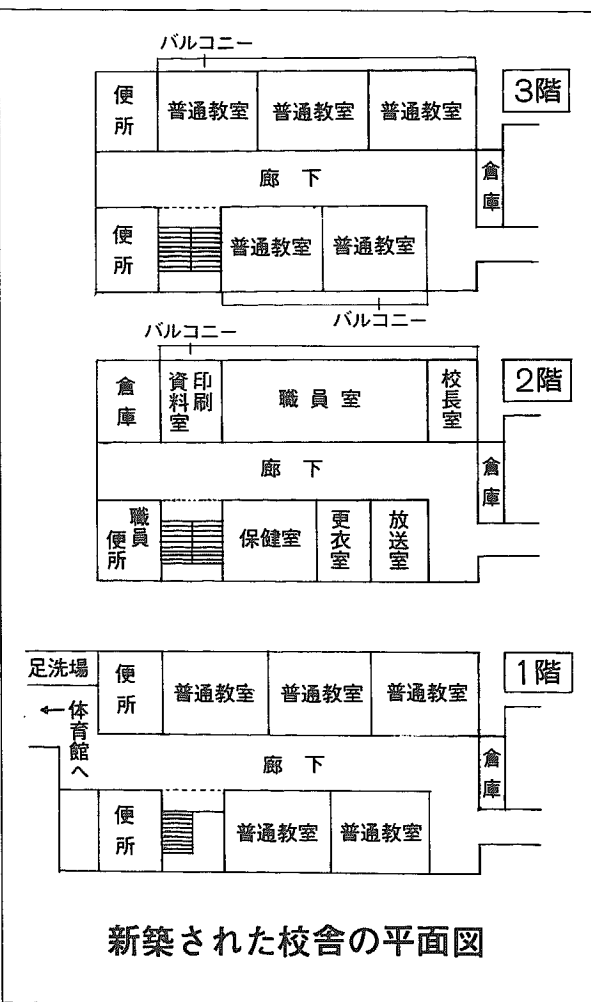
るうちに、千葉県で自噴しないガス井戸に空気を送ってガスを取っているという情報を得た。卯一さんはさっそく千葉県へ行き、空気を送るコンプレッサー(圧搾機)を買ってきて、井戸にとりつけた。



上/昭和8年当時の大野町の町並みと新町から「鶴の湯」まで引かれたガス管。町の真ん中を走る道路の両側に家がならんでいただけで、その裏は田畑だった。下/ガスの圧搾機とガスタンク。20年くらい前までは町内の各地で見られたが、地盤沈下を引起こすということで、今はほとんど見られなくなった。



新築された山田小校舎(正門側から)



新築された校舎の平面図

## 山田小学校の校舎を新築。総工費3億80万円

山田小学校では、児童数の増加などのためこれまでの木造校舎では手狭になったことから、新築工事が行われていましたが、昨年暮れに工事が終わり、この三学期から使用が開始されました。

広さは旧校舎の2倍以上

新築した校舎は、鉄筋コンクリート三階建てで、延べ床面積は一七七六平方メートル。それまでであった木造校舎(二階建

て、普通教室六部屋、延べ床面積七七八平方メートル)を取り壊

○万円で施工業者は(株)福田組、電気工事は二八五〇万円で施工業者は(株)興電社、水道などの配管工事は四五〇万円で施工業者は新湯企業(株)。なお、木造校舎の取り壊し工事

費用は二二二〇万円で施工業者は日商総合企業(株)でした。工事期間は約7か月

ことにより、全校児童が同じ校舎で揃って学べるようになったわけです。

新しい校舎への引越はPTA役員の方々の協力のもと、一月七日(土)と九日(月)に行われました。そして、三学期

## 町の動き

新校舎は1階が1、2年生、3階が5、6年生の教室になっている。



新校舎は1階が1、2年生、3階が5、6年生の教室になっている。

工事期間は、木造校舎の取り壊しが昨年六月一日から七月二十二日まで、新校舎建設が七月二十二日から十二月二十八日まででした。

この半年以上にわたる工事期間のあいだ、山田小学校の二年生と五年生は新湯交通電鉄線をはさんで向かいにある仮校舎で授業を受けました。今回、新しい校舎が完成した

なお、昨年利用された仮校舎は、来年度取り壊してその敷地六一一五平方メートルをグラウンドとして整備する計画になっています。(教育委員会)

## 短信 12月15日~1月15日

- 12月12日~26日議会12月定例会(20、21日一般質問、26日最終日) ▼16日民生委員定例会(住民福祉課) ▼18日町民クリスマスダンスパーティ(総合体育館) ▼21日入札(総務課) ▼24日大野郷学校運営研究会(改善センター) ▼26日入札(総務課) ▼27日農業委員会(農政課) 献血(北陸キャタピラ三菱、福田道路技術研究所、保健衛生課) ▼28日御用納め ▼1月1日元旦マラソン(総合体育館) ▼4日御用始め ▼5日定例課長会議、献血(中央公民館、保健衛生課) ▼9日課長会議 ▼10日夜の町長室 ▼15日町長選挙・町議会議員補欠選挙立候補予定者説明会(役場議場、選挙管理委員会)